

歓喜と恐怖の「逃走中」

2022.1.15(土)



常南に現れたサイボーグハンター



発行所
常警南小学校
電話 46-2005
F A X 46-2048
— 第20号 —
2022.1.31



オープニングゲーム



逃げる！逃げる！



つかまった児童の捕虜部屋

『最後まで逃げ切ったら100万円！』

フジテレビの人気番組、『逃走中 Run for money』は、平成16年に始まった。以来、19年。今なお変わらぬ人気を誇っている。

逃げ切るだけで大金が手に入る。この夢のような番組に、出演者の欲望と恐怖が渦巻き、見ている者にも、ドキドキ感が伝わってくる。

「この番組に出てみたい！」
私だけではない。きっと多くの大人も子どももそう思っている。誰だ

逃走中

2022.1.31

翌日、筋肉痛になったハンターが…

校長 都筑祐一

ってお金に弱い。そして、スリルを味わいたいと思っている。

この思いを見事に実現した『逃走中』は、平成21年、アジア最大の国際テレビコンクールで最優秀賞を受賞した。

そんな夢のような世界を、常南の子どもたちにぜひ提供したい。その思いが、月村サトシの呼びかけにより、オミクロンを吹き飛ばし、2年越しで実現。1月15日、ハンター26体、見守り隊27名が常南に結集した。

開会式。運動場に整列した子どもたちから歓喜と恐怖の叫び声が沸き起こる。サイボーグハンターの登場だ。ゲームが始まると、子どもたちを無表情でつかまえるハンター。ミッションを発動する安全見守り隊。そして捕虜になった仲間を助けようと東奔西走する子どもたち。

今や、スマホやタブレットに大人も子どもも夢中になる時代。その真逆に行くこの景色に、私は心が躍った。そして、改めて子ども本来の姿を再認識することができた。

○子どもは、走り回ることが大好きだ
○子どもは、スリル満点が大好きだ。
○子どもは、遊んでくれる大人が大好きだ。
時代は変わってもこの姿は変わらない。その場さえ用意すれば、子どもらしさは溢れ出る。

私は思う。学校教育にも家庭教育にも子どもと遊ぶ大人が必要なんだと。それは子どもが子どもらしく遊ぶ環境を提供することであり、大人がいくつになっても子ども心を忘れないでいることだ。常南学区にはそんな保護者がたくさんいる。

・怖かったけどすごくおもしろかった。
・来年も絶対やってほしい。お父さん、お母さんに感謝します。

子どもたちのうれしい言葉で逃走中は幕を閉じた。皆さんに感謝。
今日だけは親子の縁切るサンクラス(月村)

